

幌延町空き家バンクについて

幌延町では地方創生事業で人口減少を最小限に食い止め、地域社会を維持するため、幌延町内の空き家・空き地の実態を把握し、「幌延町空き家バンク」を立ち上げ、空き家等の有効活用により地域への人の流れを促進させる取り組みを進めています。

空き家バンクとは？

空き家・空き地の賃貸・売却を希望される方からお申し込みいただいた情報を、町ホームページなどにより紹介し、マッチングの場を提供する仕組みです。

※交渉・契約は当事者同士で行っていただきます。



① 空き家・空き地の賃貸・売却をご希望の方

② 近い将来、空き家・空き地として賃貸・売却をしようと検討されている方

は、所有される物件の意向について、アンケート調査票を送付しますので、担当までご連絡ください。

お問い合わせ先：産業振興課 企画振興グループ 電話：5-1113（内線232・233・234・235）
告知端末機：5-8814

診療所だより

診療所長：田川 豊秋



おとなの予防接種

予防接種といえば子供、特に乳幼児期のものと思っておられる方も多いと思います。実際お誕生から1歳までの間に十数回、その後も小学校入学までにさらに十数回の予防接種を今の子供たちは受けています。

そもそも予防接種とは、ある感染症の原因となるウイルスや細菌と似た構造を持つ物質を投与し、それと闘うための仕組み（抗体といいます）を予め体内に準備しておくことでその感染症に対する抵抗性を身につけるといった狙いで行われます。この事から言えば、幼少時に多くの予防接種を受けておくことも当然でしょう。しかし成人にも起こりやすい感染症というものに対しては、大人になってから受けるべきものもあります。その代表は毎秋から冬にかけてのインフルエンザですが、これはまたの機会に改めてお話ししたいと思います。

日本人の死因のうち約10%を占める肺炎。その原因として最も多い肺炎球菌に対する予防接種は、65歳以上の方に定期接種が行われています。もちろん接種を受けることは大切ですが、肺炎球菌は肺炎の1/4の原因であって、残りの3/4の肺炎にこの予防接種は無効です。あくまでも予防接種は感染症対策の1ツールに過ぎず、体調管理やうがい・手洗いといった基本的な対策が必要なのは言うまでもありません。

また昨年からは、発症すると辛い疼痛や神経障害を引き起こす帯状疱疹に対する予防接種も50歳以上を対象に認められるようになりました。任意接種ですので希望者に自費で行われますが、お気軽に診療所でご相談ください。

おとなも予防接種をうまく利用して、感染症と闘う力を身につけましょう。